

重点目標（中・長期的目標）

- ①多様化する生徒を深く理解し、一人ひとりに寄り添ったきめ細かな教育活動を行う。
 ②自己実現に向けてキャリア教育を充実させ、豊かな人間関係を育み、生きる力を育てる。
 ③人権を尊重し、自己効力感を持たせ、いじめや体罰のない安全・安心な学校をつくる。

領域	分野	重点	具体的目標	具 体 策	評 価 の 観 点
教育活動	学習指導	①	1 基礎基本を大切にしたいわかりやすい授業を行う。	・生徒の実情に応じた興味関心の持てる教材を考え、プリントを用いるなどきめ細かな指導をする。 ・必要に応じて、個別の学習指導等を行う。	・実情を理解して、学び直しを取り入れた学習ができたか。 ・生徒が授業を理解し、意欲的に取り組むことができたか。
		②	2 工業科目の特色を生かし、生徒が興味関心をもって意欲的に学べるよう工夫する。	・生徒の興味関心を引き出す指導及び教材を工夫する。 ・個々の意欲を引き出すために資格取得等を促す。	・指導及び授業に有効な工夫ができたか。 ・生徒が資格取得に積極的に挑戦したり、課題研究発表会に意欲的に取り組めたか。
	生徒指導	①	1 基本的な生活習慣を定着させる。	・生徒や家庭とのコミュニケーションを大切に、丁寧な指導を行う。	・生徒の無断欠席や遅刻、早退などが減っているか。 ・お互いが気持ちよい挨拶ができるようになったか。
		③	2 校内巡視の実施、事故防止の呼びかけ等の活動を積み重ねることで、安全・安心な学校づくりを推進する。	・正門での立ち番及び校内巡視等を積み重ねることで、安全・安心な学びの場を保障する。	・生徒の心に寄り添いながら、安心・安全な学びの場を構築することができたか。
	進路指導	①	1 生徒の適性や希望を生かした進路指導を行う。	・生徒に対して就労支援をし、確かな職業観を育成する。 ・講演会や個別面談等を通じて恒常的なキャリア教育を行う。	・生徒が希望・意欲を持ち、納得した進路実現ができたか。
		②	2 職業人としての自覚と意欲を育む。	・ものづくりや実習体験などを通して適切な職業観を育てる。	・ものづくりに携わる意識を育む指導が適切に行われたか。
	キャリア教育	②	1 自己の在り方、生き方を考え、将来設計と社会参画の意識を醸成する。	・生活体験発表文を書き、全校の前で発表し合う。 ・社会人講話や進路講話を実施する中で、自己分析を図れる能力を身につける。	・生徒が生活体験発表文が適切に書け、皆の前で発表できたか。 ・生徒が意欲的に社会人講話や進路講話に参加できたか。
		②	2 仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む。	・就労体験や学習活動・特別活動等を通じ、相互に理解し合い自己の心をコントロールしながら、社会人としてのマナーやルールを守ることや、基礎的・汎用的能力を身につける。	・生徒が就労体験をして、基本的な生活習慣が身に付いたか。
		②	3 様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促し、卒業後の進路選択に結びつける。	・実習への積極的参加や、日常の就労を支援し、将来設計を図る。 ・日々の教育活動を通して、卒業後に社会人として自立を目指す。	・生徒が規則を守り安全に実習に取り組めたか。 ・就労支援を積極的にこなすことができたか。
	生きる力	③	1 行事やクラブ活動など様々な活動を通して自信と希望を持たせる。	・学校行事や生徒会活動等に積極的に参加させ、達成感を育むとともに協調性を培う契機とする。	・生徒は積極的に生徒会活動や学校行事に参加し、達成感や自信を持つことができたか。
		③	2 他者を思いやる心や公共心を育てる。	・清掃・実習・クラブ・ボランティアなどの活動を通じ、責任を持って自分の役割を果たし、他者を認め互いに協力できる関係を築く。	・生徒が相互にかかわりを深めあい、仲間と協力して活動する喜びを体験できたか。
	学校連携	校外連携	①	1 地域との連携を深め、地域の支援を得つつ、より充実した教育活動をはかる。	・教育振興会との連携を大切にしながら、生徒の就労先との連絡を密にし、五者懇談会(保護者、就労先、職員、卒業生、在校生の五者)への参加を呼びかける。
①			2 定時制の特性や実態をよく理解していただき、学ぶ意欲と自覚を持つ入学希望者の確保を図る。	・ホームページ、学校説明会、体験入学等を通じて本校定時制の特徴を理解していただくよう努める。	・ホームページの更新が十分に行えたか。 ・中学生及びその保護者、中学校職員に本校定時制の特徴を理解していただくことができたか。
研修体制		①②	1 多様な生徒の要求に対応できる教育の資質の向上を図る。	・職員研修会等を実施し、キャリア教育・特別支援教育等の教育課題に対して職員が理解を深め、全員での取り組みを行う。	・研修会等を通して教育課題への理解が深まったか。 ・研修成果を生徒に還元できたか。
校内組織		①	1 少人数の利点を生かし、分掌機能の連携と充実を図る。	・毎日の連絡会を有効に利用し、係相互の連携を図る。	・係の意図をよく理解し、学校全体でそれに取り組むことができたか。